



2025年12月25日

各 位

会社名 株式会社イオレ  
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 瀧野 諭吾  
(コード: 2334、東証グロース)  
問合わせ先 取締役 CFO 貞方 渉  
(TEL.050-5799-9400)

## 個人向け暗号金融資産レンディングサービス「らくらくちょコイン」の提供開始等に関するお知らせ

当社は、暗号資産金融事業において、個人向け暗号金融資産レンディングサービス「らくらくちょコイン」（以下「本サービス」）を2026年1月下旬（予定）に提供開始することに並びに本サービスの提供開始に先立ち、2025年12月25日（木）より事前登録の受付を開始することを併せて、以下のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 本サービス提供開始の経緯

当社は、2025年8月14日に公表した中期経営計画に及び同10月14日に開催した「暗号資産金融事業に関する戦略発表会」にて、当社は暗号資産金融事業を中心位置づけ、資産を「取得→運用→事業活用」へと財務循環させる実装順序（DAT（デジタルアセットトレジャリー）※1及び DAL（デジタルアセットレンディング）※2による暗号資産の安定的な積み上げ、DAM（デジタルアセットマネジメント）による同事業の収益化）※3を取り、将来的な暗号資産のマスアダプションを見据え、ユーザー接点（ウォレット／決済等）とレンディングやDeFi等のサービスをシームレスに結ぶ次世代金融プラットフォーム「Neo Crypto Bank構想」の具現化を段階的に進め、資産規模の拡大とキャッシュ・フローの安定化を両立させることで、中長期的な企業価値の向上を目指しております。本サービスのリリースは、「Neo Crypto Bank構想」の一環として、サービスの具体的な実装フェーズへ移行するものになります。また、当該サービス実装フェーズに移行に伴い、個人向けレンディングの早期収益化を目的として、本サービスの開始に先立ち予約受付を開始いたします。これにより、当社は暗号資産の活用機会を拡大するとともに、DALの収益基盤を段階的に拡張してまいります。

- ※1 企業がビットコインなどのデジタル資産を財務戦略のポートフォリオに戦略的に組み込み、保有・運用すること
- ※2 暗号資産（仮想通貨）を保有している人が、それをレンディングサービス業者などに貸し出すことで、利息収入を得るサービス
- ※3 暗号資産（例：BTC、ETH等）をはじめとするブロックチェーン技術を活用したデジタル資産の管理・運用業務のこと

#### 2. 本サービスの概要

##### （1）本サービスの内容

###### ● 「貸出して貸借料を得る」レンディングの仕組み

お客様が保有する暗号資産（仮想通貨）を本サービスに「レンディング（貸出）」することで、貸出した期間に応じた貸借料が得られる仕組みです。本サービスは、運用実績を持つ複数の提携先と暗号資産の運用を行い、その運用益の中から貸借料をお支払いいたします。なお、本サービスは、複数の提携先と実現する分散運用により、個別のリスクが全体に及ぼす影響を抑制する体制を構築しております。暗号資産分野において運用実績および優れたパフォーマンスを有する専門企業を運用における提携先として選定しており、当社でのテスト運用段階※4においても一定の収益性を確認しております。さらに、当社では、市場の暴騰・暴落等の急激な環境変化に備え、運用条件の分散

や見直しを含むリスク管理を行っております。

※4 暗号資産アナリティクスで更新しております。

<https://ncbc.co.jp/dashboard>

## (2) 本サービスの特徴

- 短期間から・少額から始められる

約1ヶ月、約1万円から預け入れが可能です。

- セキュリティ

運用先を複数の機関に分散し、1機関あたりの預かり資産上限を設定することで、特定先におけるリスクが全体に及ぼす影響を抑制しています。また、機関投資家向けに実績を有するFireblocks社のセキュリティ基盤を導入し、国際水準の暗号資産の管理および不正防止体制を強化しております。

- 対象ユーザー

- 暗号資産（Bitcoin、Ethereumなど）をすでに保有しており、ただ保有するだけではなく利息収入を得たいと考えている層。
- 売買や短期トレードよりも、中長期的な保有と「ほったらかし運用」を志向するパッシブ投資志向の層。
- 他サービスとの比較で、より高い金利・利回りを重視して選びたい層。
- 少額から簡単に始めたい、手続きや管理負担を最小限にしたい初心者・暗号資産運用入門者層。

## (3) 法令対応について

暗号資産レンディングについては、現時点では暗号資産交換業者としての登録は不要と整理されていますが、金融庁が2025年12月に公表した「暗号資産に関するワーキング・グループ報告」

（注）において、今後は金融商品取引法規制対象とすることが検討されております。当社は今後の制度改正動向を注視し、適切な体制構築のもと、事業を推進してまいります。

（注）金融庁「暗号資産制度に関するワーキング・グループ報告」

[https://www.fsa.go.jp/singi/singi\\_kinyu/tosin/20251210/01.pdf](https://www.fsa.go.jp/singi/singi_kinyu/tosin/20251210/01.pdf)

## 3. 日程

(1) 予約受付開始日	2025年12月25日
(2) 本サービス提供開始日	2026年1月下旬（予定）

## 4. 本サービスの開始のために特別に支出する金額及び内容

本サービスの提供に係るシステムの構築及びメンテナンスに係る費用が発生するほか、新機能の開発に際して開発費用等が発生しますが、現時点では未定です。今後、開示の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 5. 今後の見通し

本サービス提供による業績への影響について、2026年3月期への業績影響は軽微であると見込んでおりますが、中長期的に当社の企業価値向上に資するものと考えています。合理的な算定が可能となり、また業績に重要な影響を与えると判明した場合には、速やかに開示します。

別紙のプレスリリースも併せてご参照下さい。

以上

報道関係者各位

2025年12月25日  
株式会社イオレ

## イオレ、暗号金融資産レンディングサービス「らくらくちょコイン」提供に向け

12月25日より事前予約受付開始

～暗号資産を保有から活用する時代へ。約1万円相当から利用可能なレンディングサービス～

株式会社イオレ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：瀧野 諭吾、証券コード：2334、以下、イオレ）は、暗号金融資産レンディングサービス「らくらくちょコイン」の正式リリースに先立ち、2025年12月25日より事前予約の受付を開始いたします。



### 1. 「らくらくちょコイン」提供の背景

イオレは、2025年8月14日に公表した中期経営計画において、暗号資産金融事業を成長領域の一つに位置づけています。

具体的には、暗号資産を自社で取得・保有することによる財務基盤の強化と、暗号資産を貸し出して活用するレンディング事業の両輪により、収益機会の拡大を図る方針です。

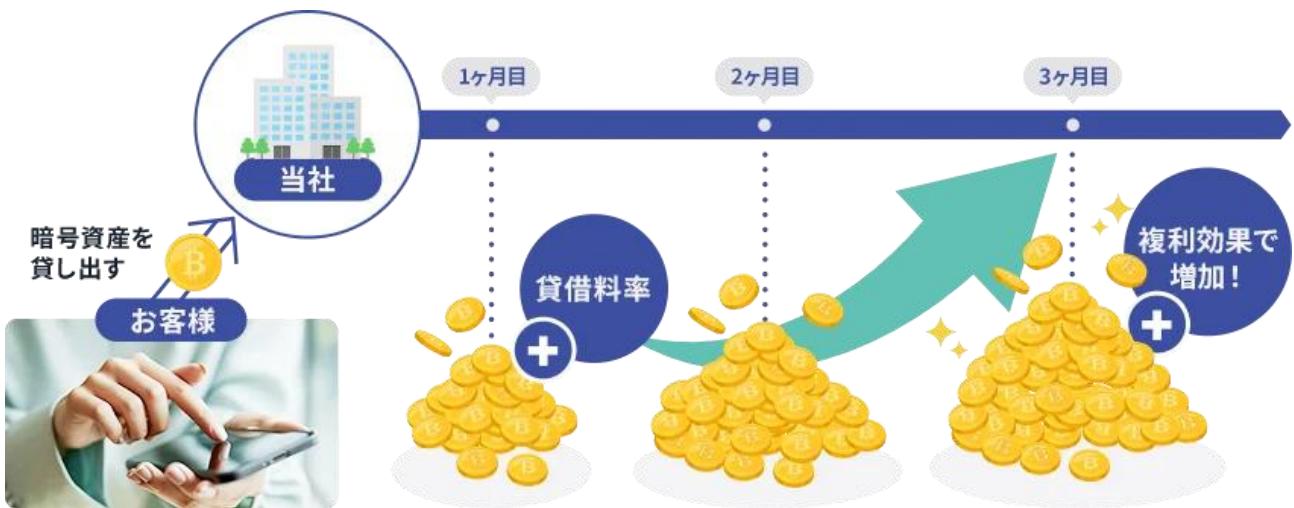
こうした方針のもと、イオレは暗号資産の取得から運用、将来的な事業活用までを一貫して支える次世代金融基盤「Neo Crypto Bank構想」を掲げ、その第一歩として、本サービスの提供準備を進めてまいりました。

### 2. 「らくらくちょコイン」の特徴

#### ● 「貸出して貸借料を得る」レンディングの仕組み

お客様が保有する暗号資産（仮想通貨）をらくらくちょコインに「貸し出し」することで、貸出した期間に応じた貸借料が得られる仕組みです。なお、本サービスは、複数の提携先と実現する分散運用により、個別のリスクが全体に及ぼす影響を抑制する体制を構築しております。暗号資産分野において運用実績および優れたパフォーマンスを有する専門企業を運用における提携先として選定しており、イオレでのテスト運用段階※においても一定の収益性を確認しております。さらに、イオレでは、市場の暴騰・暴落等の急激な環境変化に備え、運用条件の分散や見直しを含むリスク管理を行っております。

※ 暗号資産アナリティクスで更新しております。  
<https://ncbc.co.jp/dashboard>



● 短期間から・少額から始められる

「らくらくちょコイン」に暗号資産を預けた後は、30日経過したらいつでも7営業日以内に返還が可能となります。約1万円から預け入れが可能です。

● セキュリティ

「らくらくちょコイン」では、預かった暗号資産を特定の一機関に集中させず、運用先を複数の機関に分散し、1機関あたりの預かり資産上限を設けるなど、リスク管理を重視した運用体制を整備。これにより、特定の機関におけるシステム障害や運用上の問題が発生した場合でも、影響を限定的に抑えることが可能となり、資産全体のリスク低減につながります。2025年には、デジタル資産管理分野で世界的に採用が進む米国Fireblocks社のセキュリティ基盤を導入しています。Fireblocksは、暗号資産の保管・送受信において、複数の承認プロセスや高度な暗号技術を組み合わせることで、不正アクセスや内部不正のリスクを低減する仕組みを提供しており、金融機関や大手企業を含む多くの事業者に採用されています。こうした分散運用と国際水準のセキュリティ技術を組み合わせることで、暗号資産を安心して預けられる運用環境の整備を進めています。

対象ユーザー

- 暗号資産をすでに保有しており、売買ではなく長期保有を前提に活用したいと考えている方
- 日々の価格変動を追うことなく、比較的手間をかけずに運用したい方
- 少額から暗号資産運用を始めてみたい初心者の方

事前登録者限定キャンペーン

サービス正式開始を記念して、2025年12月25日～2026年1月25日までに「らくらくちょコイン」サイトより事前登録されたお客様限定で、サービス開始から2026年4月までの貸借料率を13%とさせていただきます。（正式登録時に事前登録された同一の方と確認できることが前提です）

「らくらくちょコイン」事前登録ページ

URL : <https://www.eole.co.jp/rakurakuchocoin/>

3. 法令対応について

暗号資産レンディングについては、現時点では暗号資産交換業者としての登録は不要と整理されていますが、金融庁が2025年12月に公表した「暗号資産に関するワーキング・グループ報告」において、今後は金融商品取引法規制対象とすることが検討されております。イオレは今後の制度改正動向を注視し、適切な体制構築のもと、事業を推進してまいります。

（注）金融庁「暗号資産制度に関するワーキング・グループ報告」

[https://www.fsa.go.jp/singi/singi\\_kinyu/tosin/20251210/01.pdf](https://www.fsa.go.jp/singi/singi_kinyu/tosin/20251210/01.pdf)

#### 4. 今後について

今後、イオレおよびNCBCは、本サービスに関する事前予約の受付を通じて、ユーザーからの意見や利用ニーズを踏まえた最終調整を進めた上で、2026年1月下旬（予定）の正式リリースを目指して準備を進めてまいります。併せて、運用体制やセキュリティ面のさらなる強化を図り、暗号資産を安心して活用できるサービス提供を目指してまいります。

#### ■株式会社イオレについて

会社名：株式会社イオレ

本社所在地：〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-11 西新橋光和ビル4F

代表者：代表取締役社長 瀧野 諭吾

設立：2001年4月25日

資本金：11億1,839万円 ※2025年9月30日時点

従業員数：101名 ※2025年9月30日時点

上場市場：東京証券取引所グロース市場（証券コード：2334）

事業内容：

- ・アドテクノロジー商品「pinpoint」の開発・提供
- ・運用型求人広告プラットフォーム「HR Ads Platform」の開発・提供
- ・インターネット広告事業 ・セールスプロモーション事業
- ・Web3事業（NFT販売代理、ギルド運営）
- ・旅行メディア「休日いぬ部」「休日グランピング部」の運営
- ・旅行事業
- ・AIデータセンター事業
- ・暗号資産金融事業

URL：<https://www.eole.co.jp/>